



iMac Intel 21.5インチ Retina 4K Display 2019 ディスプレイの交換

ひび割れたiMac Intel 21.5インチ Retina 4K Display 2019 ディスプレイを交換するための修理ガイドです。

作成者: Adam O'Camb



はじめに

このガイドを参照して、iMac Intel 21.5インチ Retina 4K Display 2019のフロントパネルを交換します。

このガイドで使用されている複数の画像は、旧モデルのiMacを使用しています。見た目のわずかな違いはありますが、作業内容自体に影響はありません。

この作業は、壊れたディスプレイを取り外し、ディスプレイデータケーブルとサーマルセンサーを新しい交換用のディスプレイに移植します。



ツール:

- [ピンセット](#) (1)
- [スパッジャー](#) (1)
- [iMac用開口ツール](#) (1)
- [プラスチックカード](#) (1)
- [iOpener](#) (1)
- [iFixit開口用ピック\(6枚セット\)](#) (1)
- [iMac Intel 21.5インチ 簡易版サービスウェッジ](#) (1)



部品:

- [iMac Intel 21.5インチ \(2012-2019\) 接着ストリップ](#) (1)

手順 1 — iMac作業用サポートをインストールします。



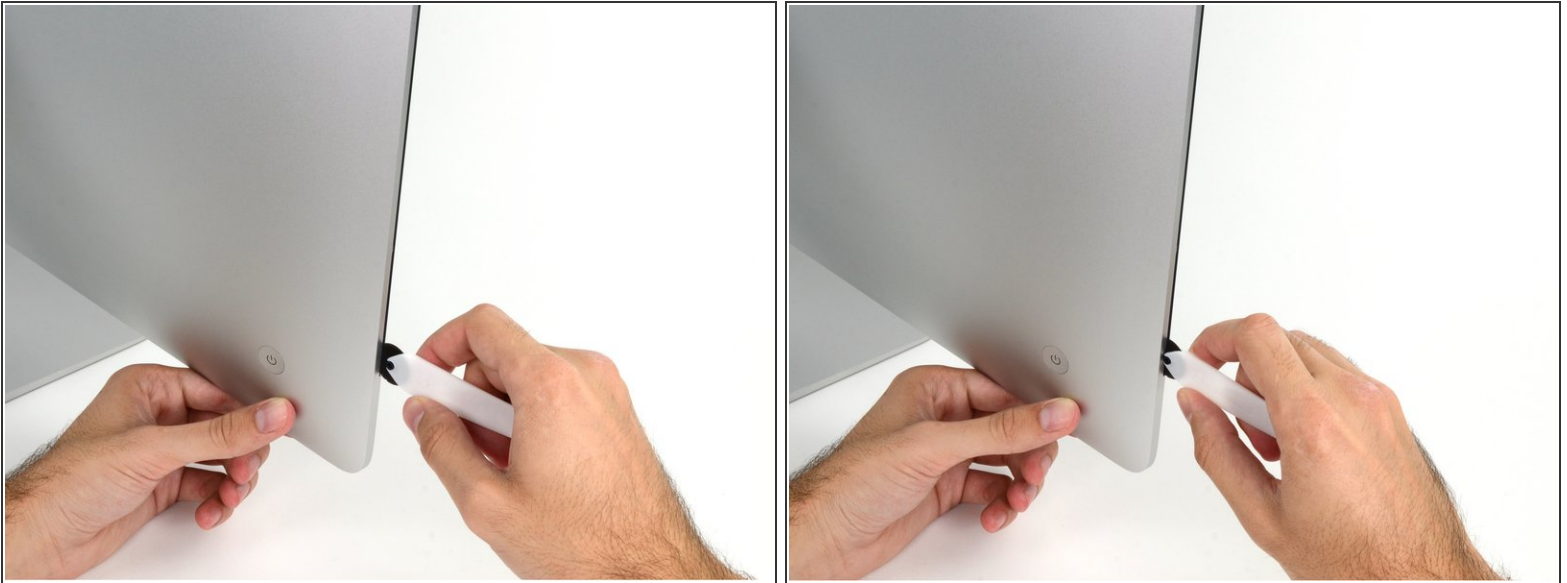
- ヒンジを外すと、iMacはバランスが取れなくなり、作業が難しくなります。[iMac Service Wedge](#)があれば修理作業は素早く、簡単ですが、なくても対応できます。

① [iFixitの梱包用ボックス](#)を使ってウェッジ用サポートを作ることができます。こちらから[組み立てガイド](#)を参照してください。

- ② **iMacの作業を始める前に、コンピューターの電源を外して電源のキャパシタを放電するため約10秒間電源を押し続けてください。**

⚠ キャパシタの鉛や、電源の裏側にある露出した半田付け接合部分に接触しないよう、特にご注意ください。基盤の端のみを持ってください。

手順 2 — 開口ツールを差し込みます。



- iMac用開口ツールをガラスパネルと背面エンクロージャーの間の隙間に差し込みます。電源ボタン付近のディスプレイの左側に挿入します。

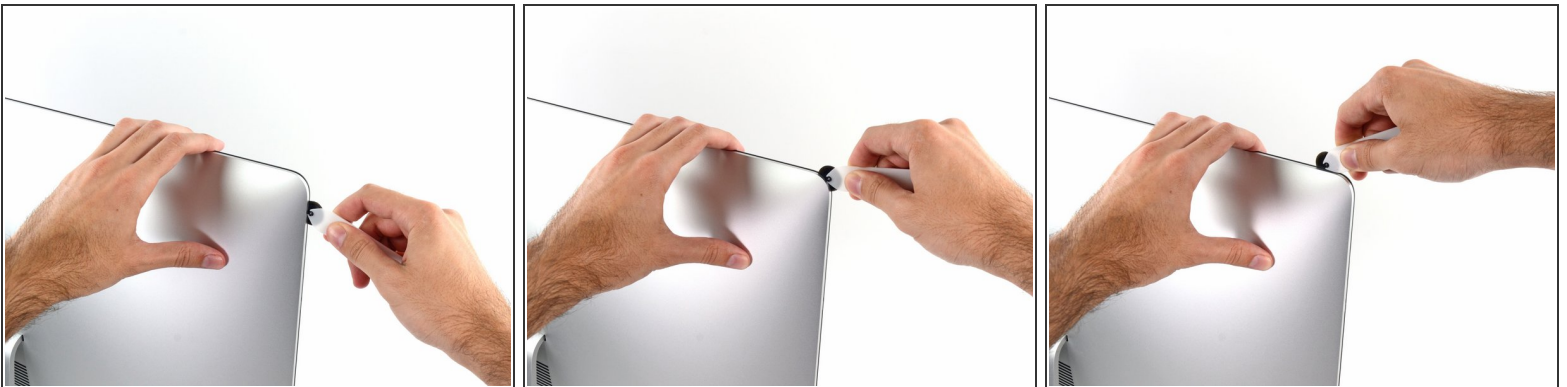
! iMac開口ツール上の回転軸を押し込んでもディスプレイの奥深くまで届きません。もし異なるツールを使用する場合、ディスプレイから9.5mm以上は差し込まないでください。それ以上深く差し込むと、アンテナケーブルに深刻なダメージを与えてしまいます。

手順 3 — ディスプレイ用接着剤を切開します。



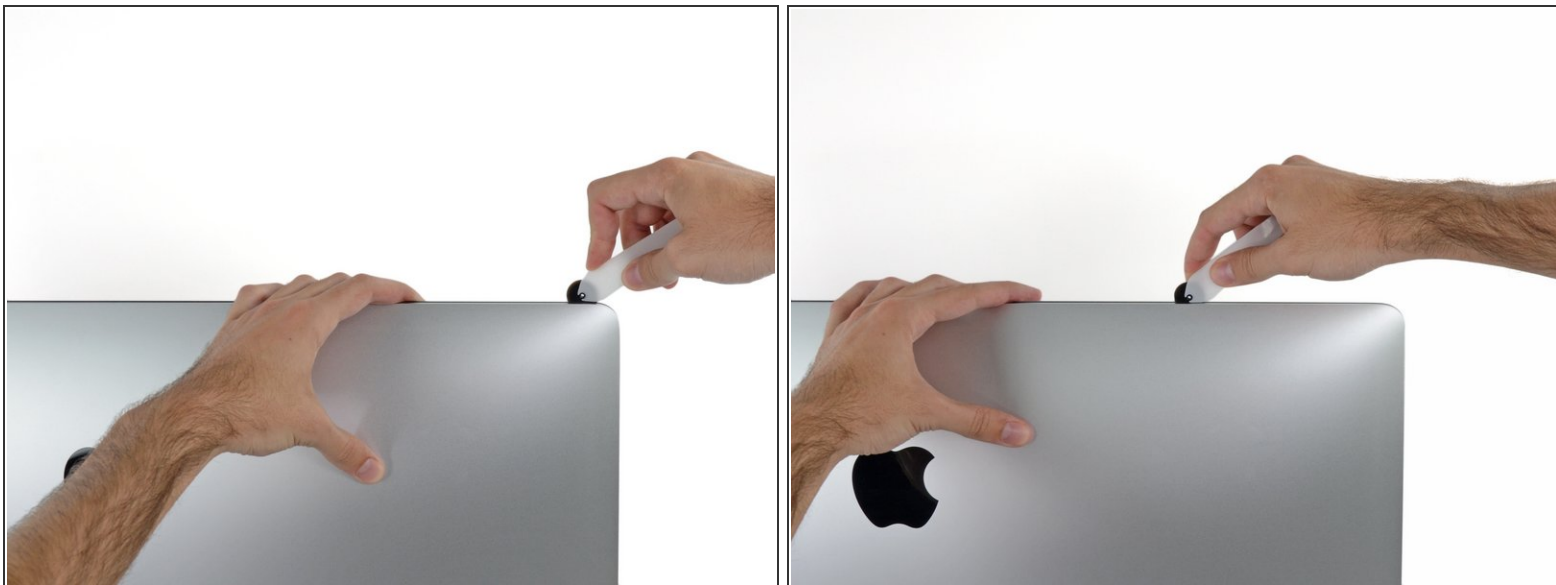
- ピザカッターのようにツールを使います—隙間に沿ってスライスしながら、フォーム製接着剤を切り込んでください。
- ❗ カット用の車輪の裏の持ち手をしっかり持って前方に向けて押し込んでください。もし外向きに引っ張ると車輪がハンドルから外れてしまいます。
- ツールをディスプレイの左側に沿って下側から上部に向けてスライスします。

手順 4



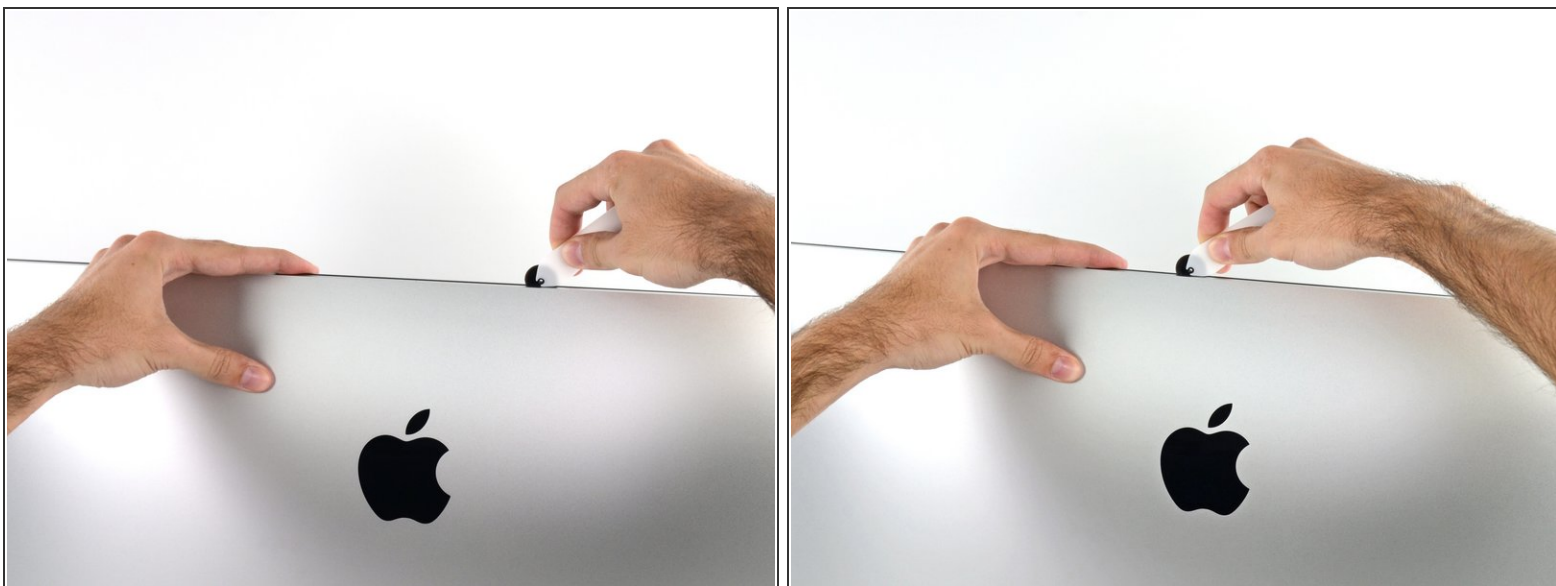
- 左側コーナー上部周辺までスライスします。

手順 5



- ディスプレイ上部左側から接着剤を切開します。

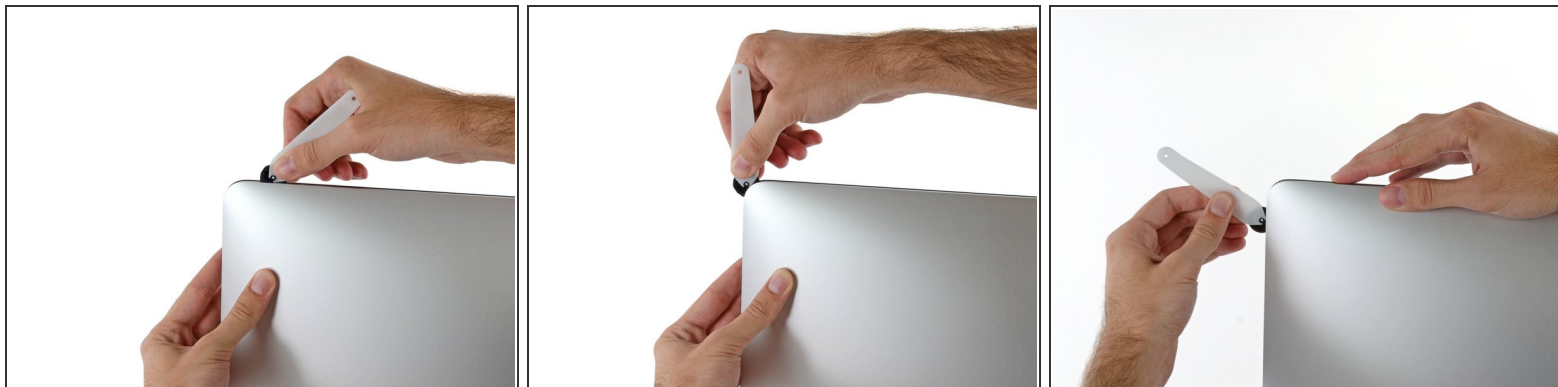
手順 6



- ディスプレイ上部に沿って開口ツールをスライスします。

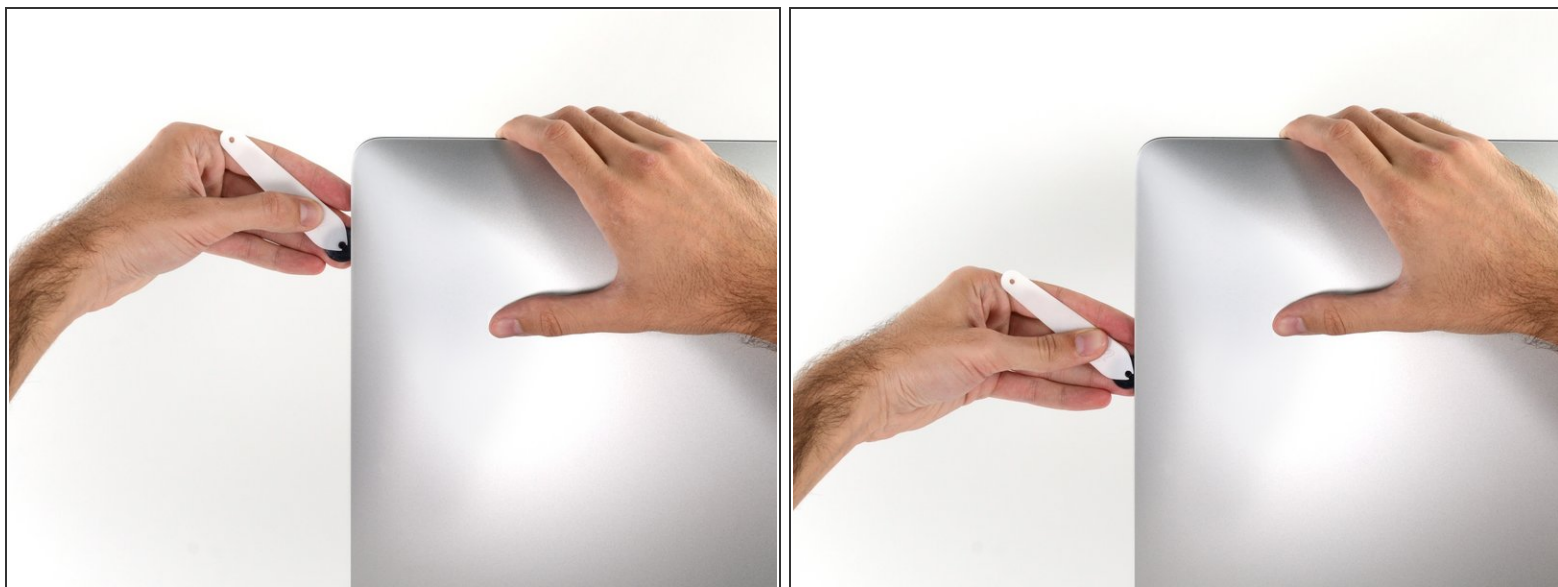
- ① すでに切開した箇所も、接着剤が完全に切断されているか確認するため、複数回に渡って前後にスライドしてください。

手順 7



- ディスプレイ上部の右側コーナー周辺までツールをスライドしながら、接着剤を切開します。

手順 8



- ディスプレイの右側に沿ってツールを上部から下側に向けてスライドします。

手順 9



- ディスプレイ右側の下部まで開口ツールをスライドさせて、ここで作業を終えます。

i ここでもう一度、ディスプレイ全体に沿って開口ツールをスライドさせ、接着剤をスライスできたか確認しましょう。

手順 10



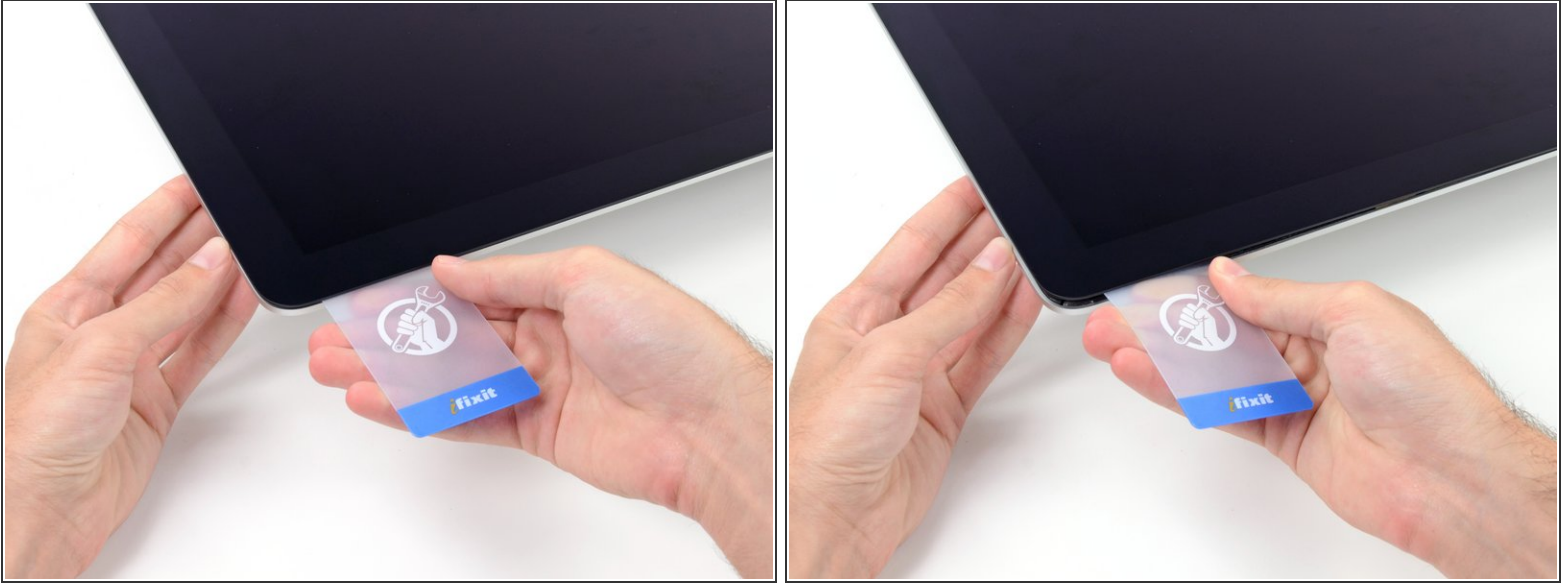
❗ 開口ツールがディスプレイ上の接着剤の大部分を切断できても、ディスプレイはわずかにケースに装着されたままです。残りの接着剤から完全に乖離するため、プラスチックカードを使用してください。

📌 iMacのフロント側を上向きにしてテーブル上に置いてください。

- iMac右側の上部から、ディスプレイとフレームの間にプラスチックカードを差し込みます。

⚠ 9.5mm以上はプラスチックカードを差し込まないでください。内部コンポーネントにダメージを与えてしまいます。

手順 11



- ディスプレイとフレームの間に隙間を作るように、丁寧にプラスチックを外側に向けてひねります。
- ディスプレイのガラスに圧力がかからないように注意しながら、ゆっくりと動かします。約6mm程度の隙間ができれば十分です。

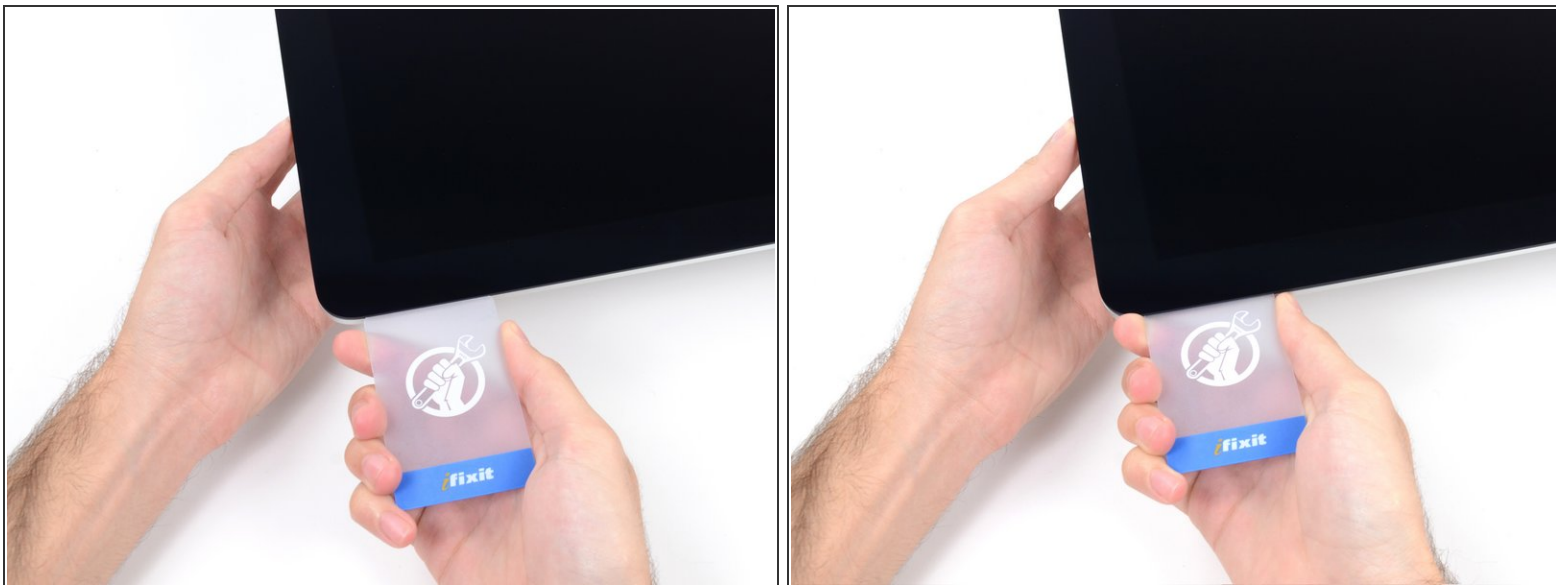
手順 12



- 残りの接着剤を乖離させながら、iMacの上部右側コーナーからディスプレイ中央に向けてプラスチックカードをスライドします。

⚠ iSightカメラ手前で止めてください。これ以上進むとダメージを与えてしまいます。

手順 13



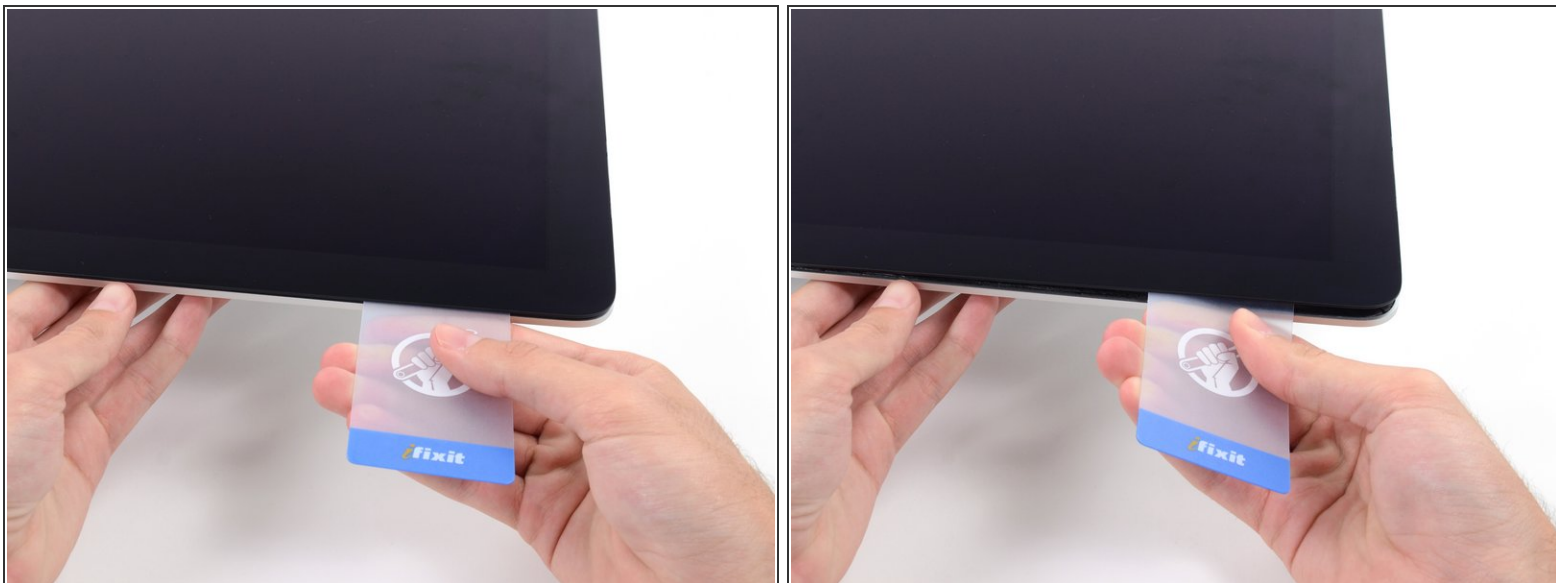
- 接着剤が再装着するのを防ぐため、ディスプレイ上部右側コーナー付近にプラスチックカードを差し込んだままにします。

手順 14



- 2枚目のプラスチックカードをiMac上部左側付近のディスプレイとフレームの隙間に差し込みます。

手順 15



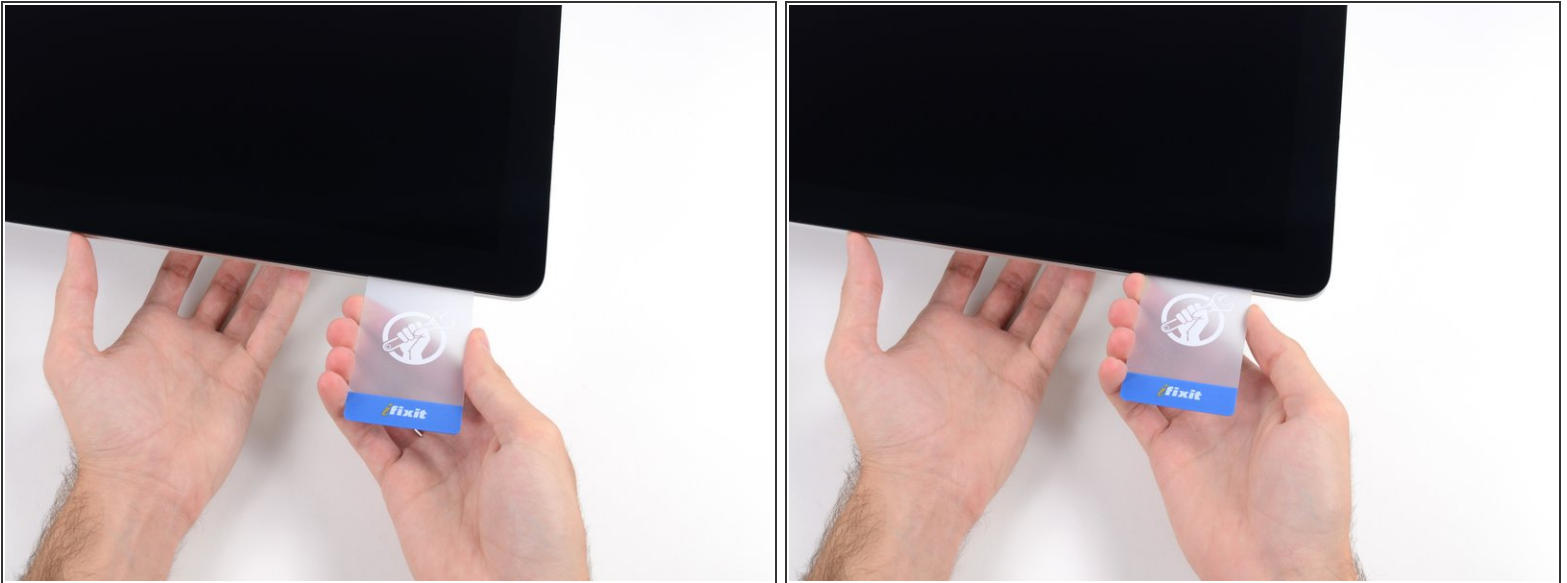
- ゆっくりとカードを上向きにツイストして、ディスプレイとフレームの間の隙間を広げます。
- ❗ 反対側も同様に、接着剤が乖離するようにゆっくりとツイストします。ディスプレイのガラスに余分な圧力がかからないようご注意ください。

手順 16



- プラスチックカードを中央に向けてスライドします。
- ⚠ カメラにダメージを与えてしまうため、iSight カメラの手前でスライドを止めてください。

手順 17



- プラスチックカードを左側上部コーナーの裏側に差し込みます。

手順 18



- コーナー付近に差し込んだ2枚のプラスチックカードを手に取り、ディスプレイとケースの間の隙間を広げるようにカードを外側に向けてツイストします。
 - ⓘ もし接着剤が剥がれていない箇所がある場合はツイスト作業を止めて、どちらかのカードを使って接着剤を切断します。
 - フレームからディスプレイ上部を持ち上げます。
- ⚠ 約5cm程度以上はディスプレイを持ち上げないでください。ディスプレイデータケーブルやパワーケーブルが基板に接続されたままの状態です。

手順 19 — ディスプレイアセンブリケーブル



- ❶ コネクタにアクセスできるほどのスペースを作るため、ディスプレイを持ち上げます。しかし、ケーブルが伸びて、コネクタの接続部分にストレスを与えないように、持ち上げすぎないようにご注意ください。(約15cm程度が目安)
- ディスプレイを片手で持ちながら、もう一方の手でディスプレイパワーケーブルの接続を外します。

手順 20



- 引き続きディスプレイを片手で固定しながら、ディスプレイデータケーブル上にあるメタル製固定ブラケットを裏返します。
 - ロジックボード上のソケットから、ディスプレイデータケーブルをゆっくりと引っ張ります。
- ⚠ ディスプレイデータケーブルのコネクタを、ソケットからまっすぐ引っ張ります。その際、マザーボードにダメージを与えないよう気をつけながら、ケーブルをマザーボードと並行にして引き抜いてください。

手順 21 — ディスプレイを外します。



- ディスプレイを左右均等に持ち上げます。

- ❗ この時点でディスプレイ底に沿って接着ストリップがまだ付いています。これがヒンジのようにフレームとディスプレイを固定しています。ディスプレイを上下に数回揺らすと、この接着ストリップを緩めることができます。

手順 22





- ❗ 必要に応じて、プラスチックカードを使って接着ストリップの残りの部分を切断してください。

手順 23



- ディスプレイをフレームから持ち上げて、iMacから外します。
- 片側をゆっくりと持ち上げて、接着剤を剥がしながら外してください。

 ディスプレイの取り扱いには特にご注意ください。ーディスプレイは大型で重量があり、ガラス製です。

 接着剤を切開した後は、ディスプレイを固定するための接着剤の再利用ができません。[このガイドを参照して](#)、接着ストリップを交換して、背面エンクロージャーとディスプレイをしっかりと固定してください。

手順 24 — ディスプレイ



- ❗ ディスプレイを安定した平面上に静かに裏返して置きます。 前面ガラスを傷つけたり、汚れや破片から保護するために、タオルや布の上に置くと便利です。
- 爪先またはスパッジャーの先端を使って、ディスプレイデータコネクタの固定フラップを裏返します。

手順 25



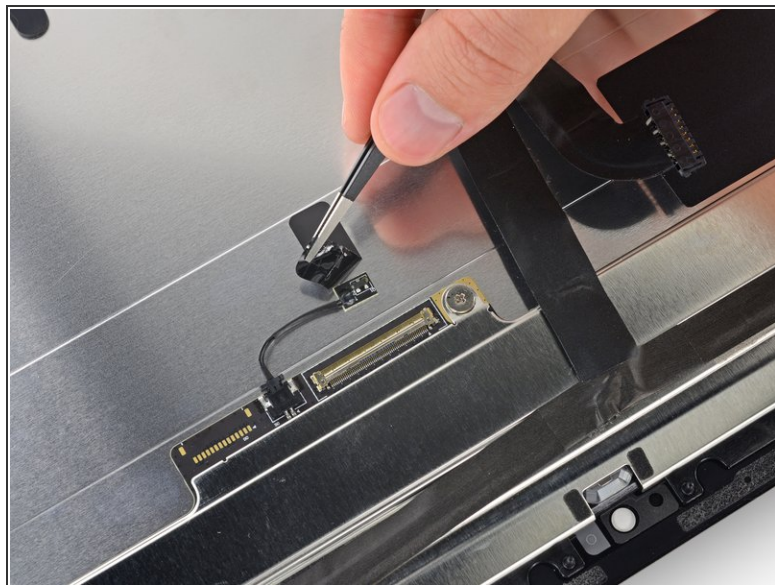
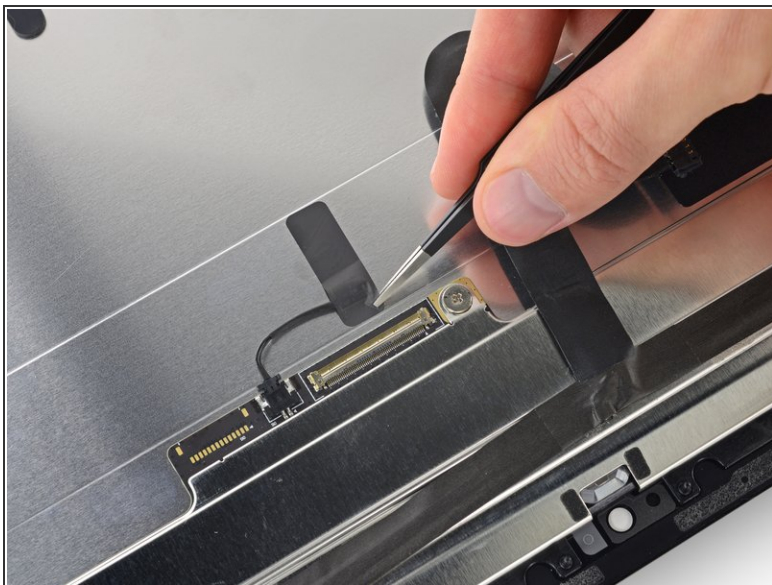
- ディスプレイ裏側のソケットからディスプレイデータケーブルのコネクタをまっすぐ引き抜きます。

手順 26



- Openerを使ってディスプレイアセンブリの上部端に載せて、温度センサを固定しているテープの接着剤を温めて柔らかくします。
- ① Opener を使って、正しく温めるために[こちらのガイド](#)を参照してください。

手順 27



- 温度センサをディスプレイアセンブリ裏側に固定しているテープを剥がします。

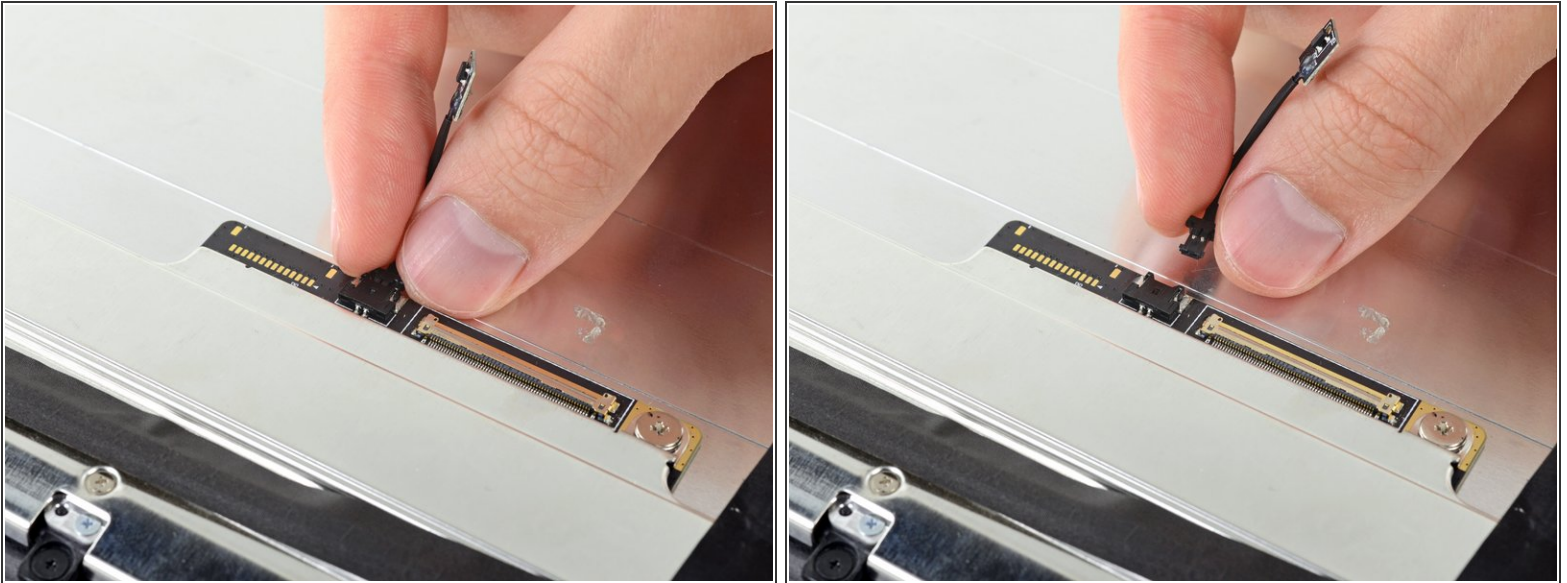
i iMacモデルによって、温度センサーは若干異なる位置に装着されています。

手順 28



- 開口ピックを使って、iMacディスプレイ裏側に温度センサを固定している接着剤を剥がします。

手順 29



- ディスプレイ裏側のソケットから温度センサの接続を外します。
- 温度センサを取り出して、新しい交換用のディスプレイアセンブリに移します。

オリジナルのパーツと交換用パーツをよく見比べてください。交換用パーツに付いていない残りのコンポーネントや接着シールなどは、インストールする前に新パーツに移植する必要があります。

このデバイスを再組み立てするには、インストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

e-wasteを処理する場合は、[認可済みリサイクルセンターR2](#)を通じて廃棄してください。

修理が上手く進みませんか？ [ベーシックなトラブルシューティング](#)のページを参照するか、[このモデルのアンサーコミュニティ](#)に尋ねてみましょう。